# 豊松地区むらづくりアンケート調査結果　特集号

８月に実施いたしました「豊松地区むらづくりアンケート調査」にご協力いただきありがとうございました。皆さんから貴重なご意見をたくさんいただきましたので，これらの意見をしっかり反映した「第２期豊松地区むらづくり計画」の策定に取り組みます。

アンケート結果の集約ができましたので，この紙面でご報告させていただきます。

なお，今後のむらづくりについては，住民全員一人残らず出番のある「自分事」として考え，その思いを第２期計画に結集するとともに，行動に起こして行きましょう。

## 1　配布・回収状況

「豊松地区むらづくりアンケート調査」は，16歳以上の豊松地区住民の方と豊松ふるさと応援団員の方，それぞれ全員を対象として行いました。

調査票の配布回収状況は次のとおりで，回収率は，16歳以上の豊松地区住民の方42％，豊松ふるさと応援団員の方44％でした。

| 対象 | 配付数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|---|
| 16歳以上の豊松地区住民 | 1,002件 | 419件 | 42％ |
| とよまつふるさと応援団員 | 78件 | 34件 | 44％ |

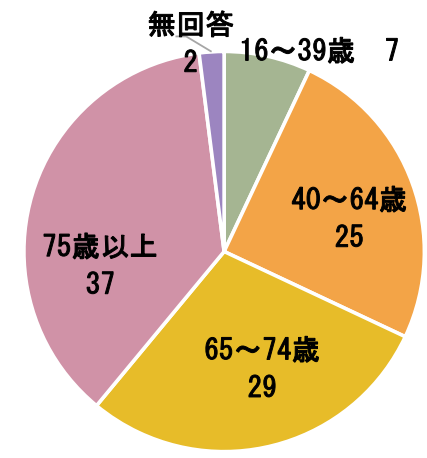
## 2　豊松地区住民

回答者の方の年齢は，16～39歳7％，40～64歳25％，65～74歳29％，75歳以上37％で，65歳以上の方が約7割ですです。

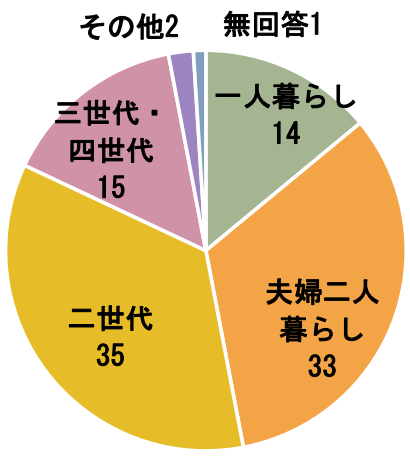
回答者の方の家族構成は「一人暮らし」14％，「夫婦二人暮らし」33％で，少人数の世帯が約半分です。

特に，65歳以上の方では少人数で暮らしている方が約6割を占めています。

＜回答者の年齢＞




＜回答者の家族構成＞




（注：グラフ内の数字の単位は％です。）

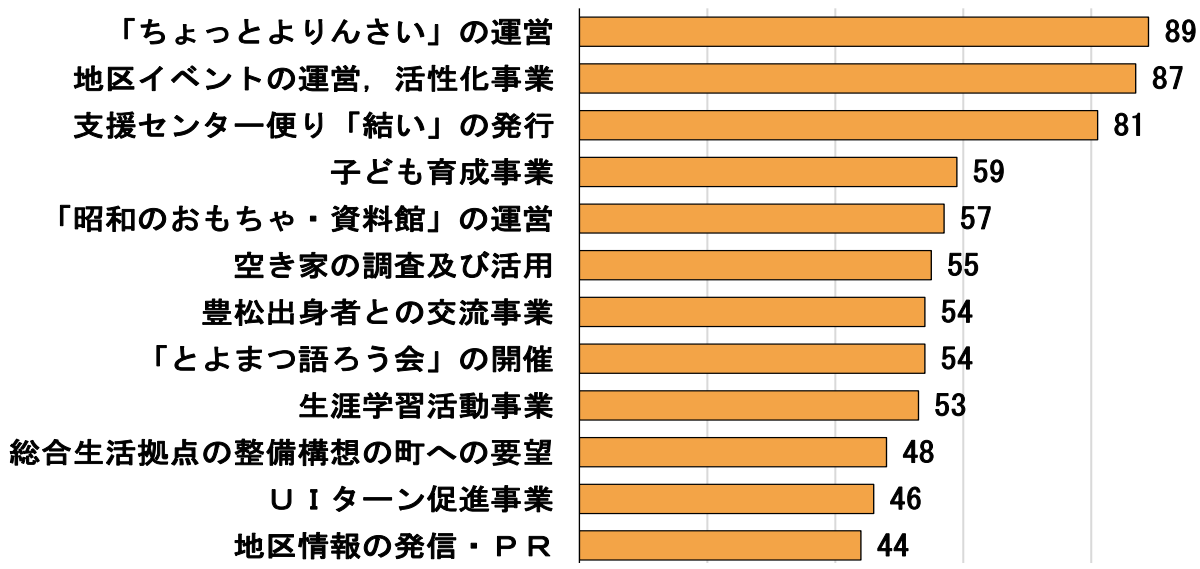
豊松協働支援センターの活動について「知っている」答えた方の割合をみると，「「ちょっとよりんさい」の運営，「地区イベントの運営，活性化事業」，「支援センター便り「結い」の発行」の3項目は8割以上となっています。その他の項目は5割前後の割合です。

「ちょっとよりんさい」の利用状況は，月1回以上利用している方が18％です。また，「昭和のおもちゃ・資料館」を見学状況は，「見学した」と「答えた方が30％です。

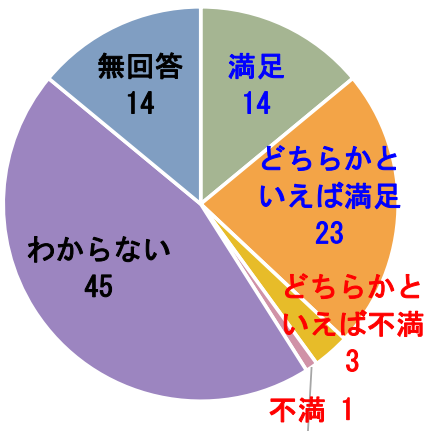
豊松協働支援センターの便り「結い」を読んでいる方をみると，「毎号読んでいる」，「おおむね読んでいる」，「時々読んでいる」を合わせた「結い」読んでいる方が8割以上です。

豊松協働支援センターの活動の評価については，「満足」，「どちらかといえば満足」を合わせた満足している方が37％で，不満な方はわずかです。一方，「わからない」と答えた方が45％です。

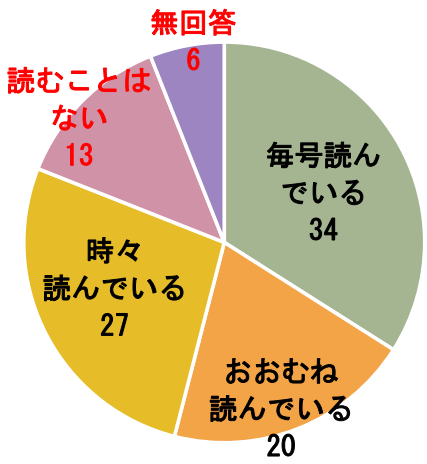
＜豊松協働支援センターの活動について「知っている」と答えた方＞



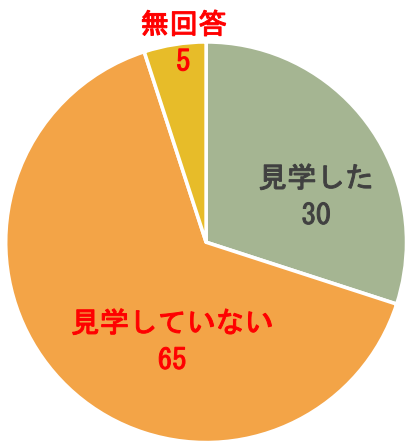

＜センターの活動の評価＞



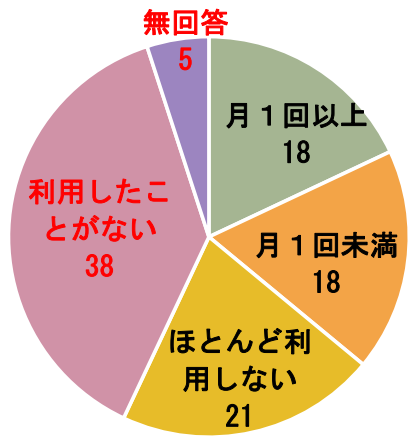

＜便り「結い」＞を読んでいる方＞




「昭和のおもちゃ・資料館」の見学の有無



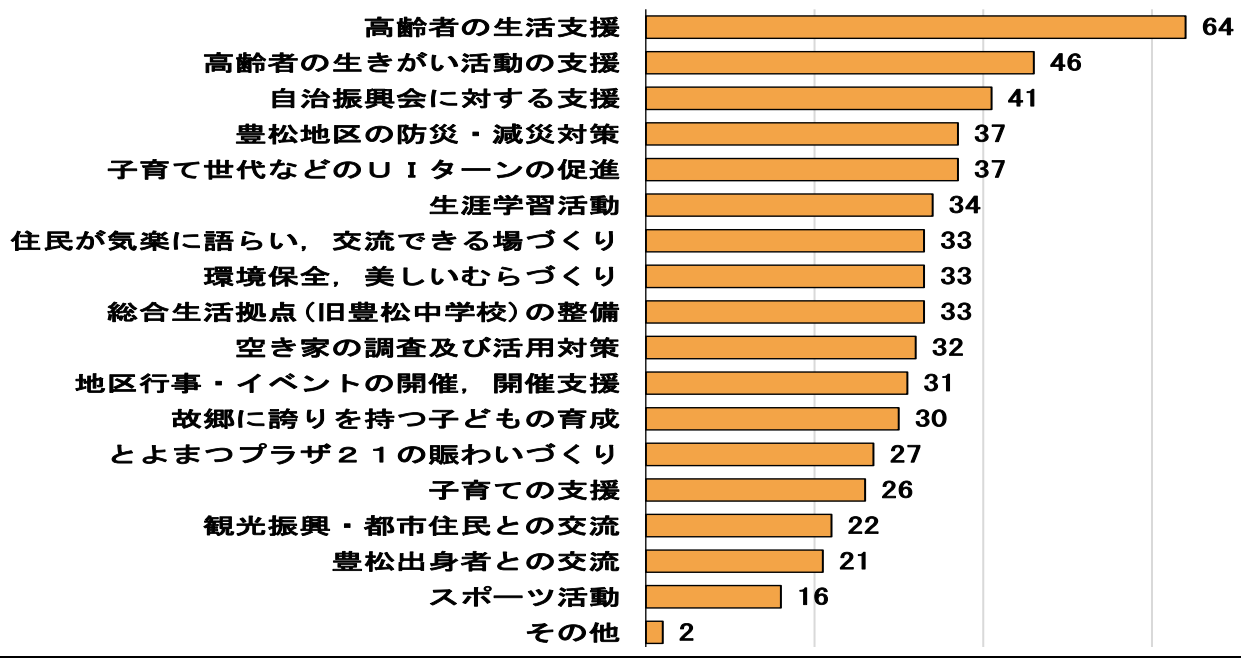

「ちょっとよりんさい」の利用状況




今後のむらづくりで取り組みたいこと・取り組んで欲しいことをみると，「高齢者の生活支援」を挙げた方が64％で最も割合が高く，次いで「高齢者の生きがい活動の支援」46％，「自治振興会に対する支援」41％，「豊松地区の防災対策・減災対策」及び「子育て世帯などのＵターンの促進」37％の順で，これらが上位5項目に挙げられています。その他では，「生涯学習活動」，「住民が気楽に語らい，交流できる場づくり」，「環境保全・美しい村づくり」，「総合生活拠点（旧豊松中学校）の整備」，「空き家の調査及び活用」，「地区行事・イベントの開催，開催支援」の6項目が30％台で続いています。

また，16～39歳では「高齢者の生活支援」と「環境保全・美しいむらづくり」が52％で最も割合が高いほか，「子育て世代のＵターンの促進」，「地区行事の開催，開催支援」などが上位に挙げられています。

＜今後のむらづくりで取り組みたいこと・取り組んで欲しいこと：○をいくつでも＞



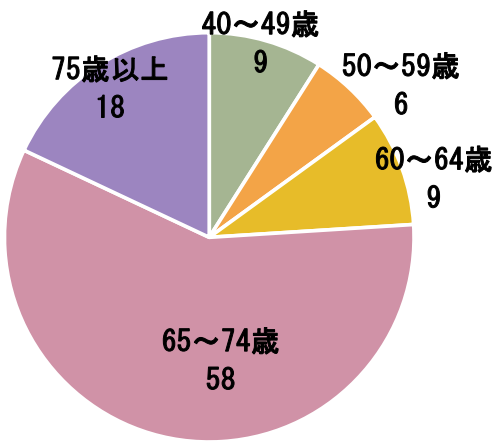
## 3　とよまつふるさと応援団員

**回答者の方の年齢**は，65歳未満24％，65～74歳58％，75歳以上18％で，65～74歳の方が多くなっています。

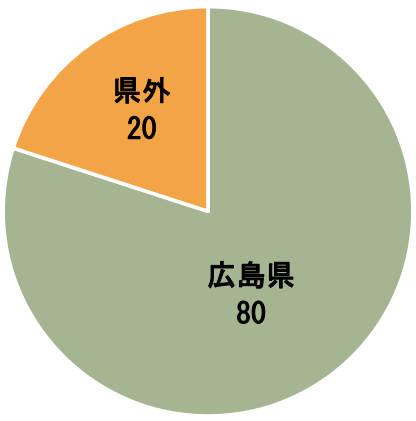
**回答者の方の住所**は「広島県内」が8割とほとんどです。県外の方は，岡山県，兵庫県，神奈川県，東京都，千葉県です。

**回答者の方の帰省状況**は「月1回以上」29％，「年6～11回」15％，「年3～5回」18％，「年1～2回」32％で，広島県内に住んでおられる方が多いため，ほとんどの方が年1回以上帰省されています。

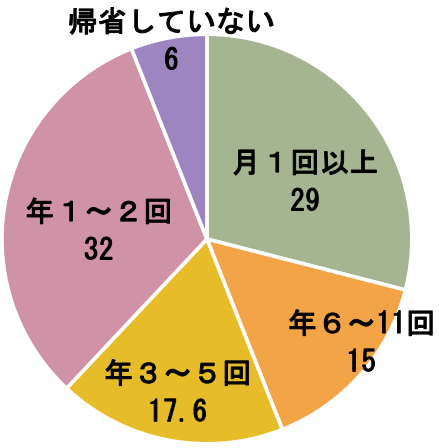
**＜回答者の年齢＞**




**＜回答者の住所＞**




**＜回答者の帰省状況＞**

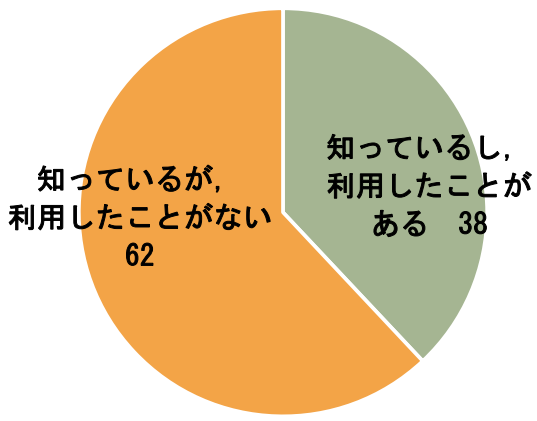



（注：グラフ内の数字の単位は％です。）

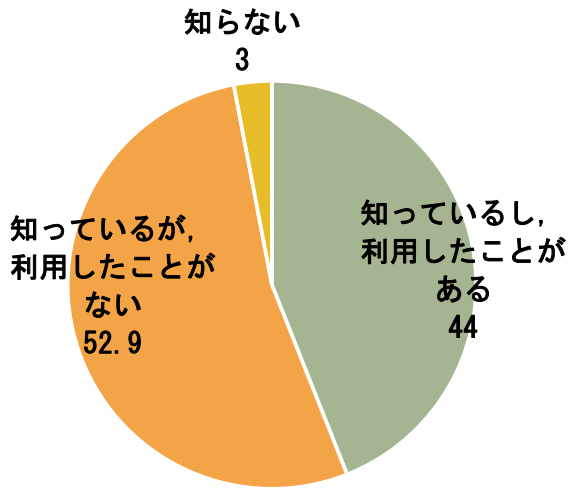
**「ちょっとよりんさい」**と**「昭和のおもちゃ・資料館」**については，回答者のほとんどの方が知っており，4割前後の方が「利用したことがある」と答えられています。

**豊松協働支援センターの便り「結い」**については，「毎回読んでいる」85％，「おおむね読んでいる」15％で，回答者の方全員にいつも読まれています。

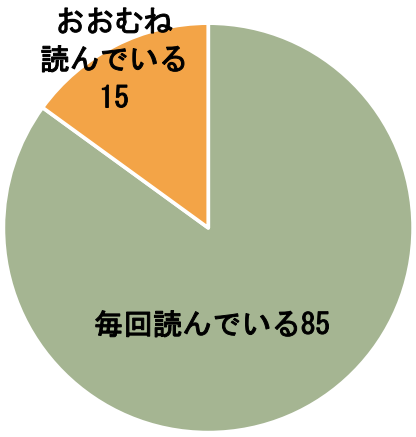
**「ちょっとよりんさい」について**




**「昭和のおもちゃ・資料館」について**




**＜便り「結い」＞を読んでいる方**

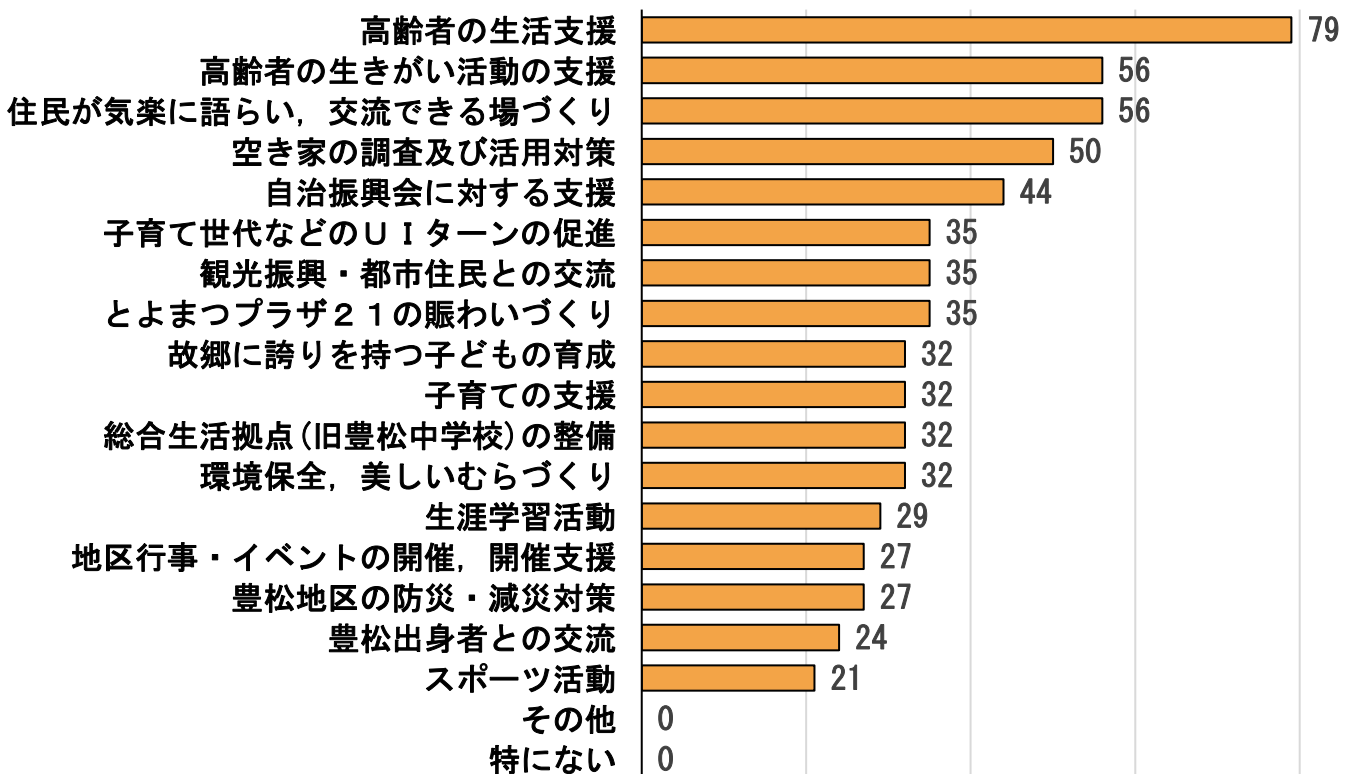



**今後のむらづくりで取り組んで欲しいこと**については，「高齢者の生活支援」を挙げた方が79％で最も多く，次いで「高齢者の生きがい活動の場の整備」及び「住民が気楽に語らい交流できる場づくり」56％，「空き家の調査及び活用対策」50％の順で，これら4項目が5割を超えています。

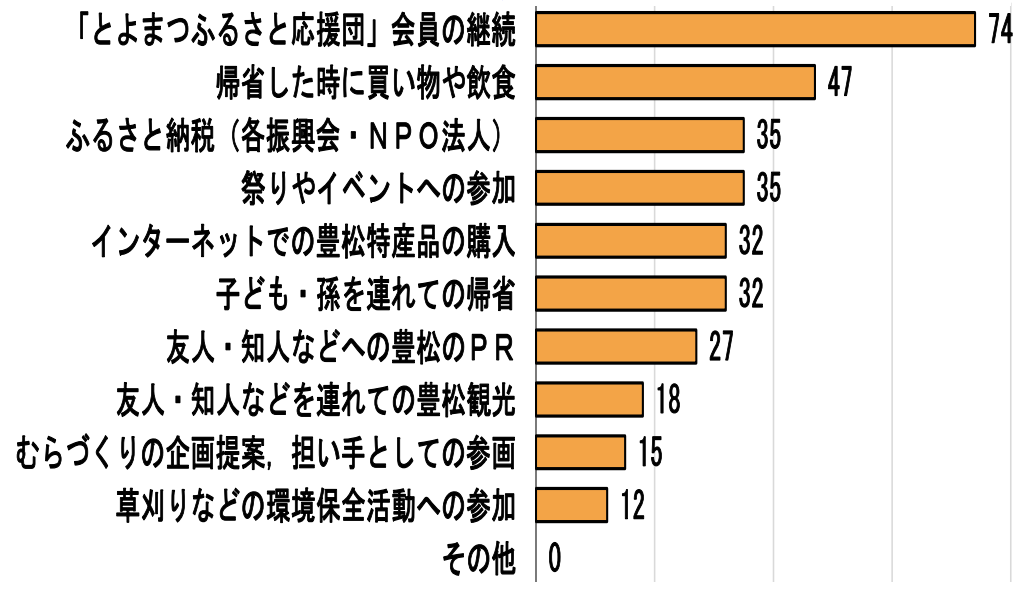
**むらづくりの応援**については，「「とよまつふるさと応援団員」の継続」を挙げた方が74％で最も割合が高く，次いで「帰省した時に買い物や飲食」47％，「ふるさと納税（各振興会・NPO法人）」及び「祭りやイベントへの参加」35％などの順です。

**豊松協働支援センターに依頼したいこと**については，「便り「結い」・ホームページ等での情報発信」を挙げた方が35％で最も割合が高く，次いで「豊松での同窓会の開催の支援」29％，「住宅（空き家）の管理・処分」24％，「豊松特産品パックづくりと宅配」及び「地区出身者が参加しやすいイベント」21％などの順です。

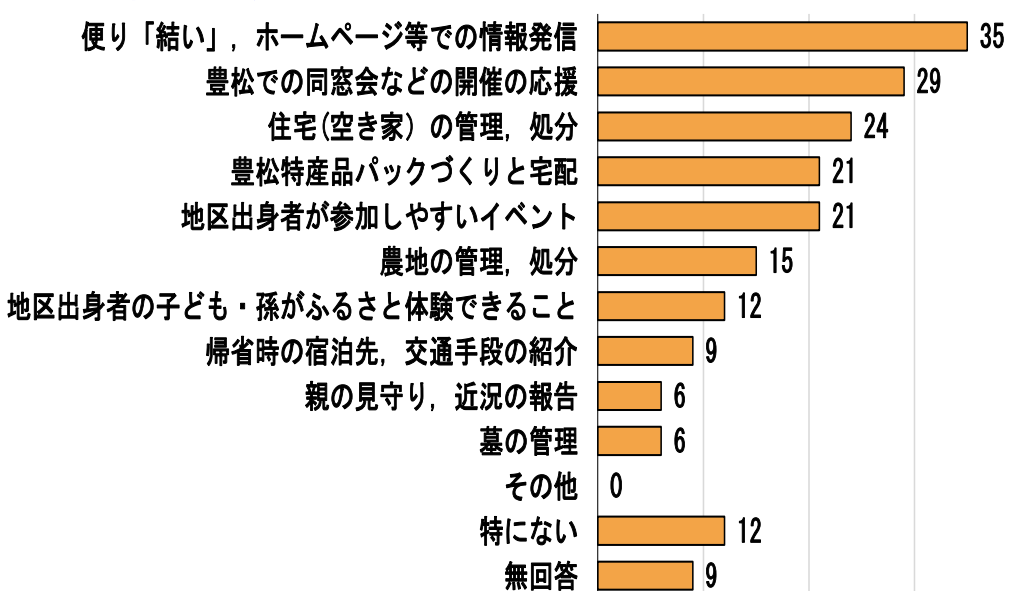
**＜今後のむらづくりで取り組んで欲しいこと：○をいくつでも＞**




**＜むらづくりの応援：○をいくつでも＞**




**＜豊松協働支援センターに依頼したいこと：○をいくつでも＞**




「第２期豊松地区むらづくり計画策定委員会」の第１回目の会合を１０月１６日に開催し，「豊松地区アンケート調査結果」を報告するとともに，アンケート調査結果を踏まえた今後の５年間の取組について話し合いを行いました。今後会合を重ねて計画案を策定しますが，途中経過を皆さんにご報告し，追加意見をいただきながら，計画を煮詰めていきたいと考えておりますので，今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

―笑顔で暮らせる　持続可能な地域づくり―